



緑の園

2月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより



第68号

令和4年2月1日発行

Deep Purple/Live In Japan(1972)

まだまだ緊張感が続きます。

新型コロナウイルス感染症の感染者数は日々爆発的ともいえるほど拡大している状況ですが、とうとう北海道でも先月の27日(木)から「まん延防止法等重点措置」が適用される事態となりました。

「第6波」は必ず訪れるといわれていたことが現実となり、楽しみにしていたたくさんのイベントが中止になっています。

今回確認されている新しい変異株については感染力が今までよりも上がっていることは最近の感染者数の増加を見れば容易にわかるとおりこの勢いには恐怖を覚えます。

重症化リスクに関しては従来のものに比べ低いとはいわれていますがあくまでも、感染した方の年齢層が低いというだけであって、先月下旬から高齢者の感染が増えておりそれに伴って入院される方や重症の方も増えている状況や道内の特別養護老人ホームの複数の施設で集団感染が報告されていることもあり本当に心配です。

感染対策は今までどおりの**手洗い・マスク・換気・密閉空間・密集場所・密接場面のいわゆる三密の回避を徹底**することに何ら変わりはありません。

しかしながら、マスクを外した状況や鼻出しマスク

など着用が不十分な状況で感染してしまうことが従来より多く、同じことが不完全な換気にもいえるそうです。

以前のような「接触の8割減」や「家族全員で家にいて下さい」ということではなく、きちんとした感染対策をとり、**感染リスクの高い場所への外出は避ける**ことが何より大事とのことです。

まだまだ強い緊張感にさらされながらの毎日が続いてしましますが、絶望だけはせず感染対策を忠実に日々行っていけばいつかは…。ってことだと思います。

蛇足ではありますが1918年の「スペイン風邪」の際には日本国民にうがいや咳エチケットの啓発がなされたそうです。

その記憶が100年後の今に至るまで受け継がれてきました。

今は「新型コロナウイルス感染症」の渦中にありとてもつらい状況ですが未来の100年後のために受け渡す何かを残す必要があるのだと思います。(おわり)





3回目の新型コロナワクチン接種が始まります。

特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ、養護老人ホーム緑の園及び地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザに入所されておられるご利用様様の3回目の「新型コロナワクチン接種」が今月1日から24日までに丸瀬布厚生クリニックで順次接種をすすめていく予定です。

「新型コロナウイルス」の感染からご利用様様をお守りするための大切な予防接種となりますので確実に滞りなく完了したいと思っております。

ご利用様様をはじめとしてご家族様各位におかれましては何とぞご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



先月の出来事です。



穏やかな年明けを迎えたと思われた令和4年でしたが1月中旬から突然、新型コロナウイルスの変異株オミクロン株の出現により緊張感が高まりました。

そんな中であってもヒルトップハイツでは19日にお正月気分を味わっていただくよう「餅つき会」を開催いたしました。

デイサービスセンターでは4日から7日まで「新年交礼会」を開催し新しい年をご利用様様と一緒に祝いいたしました。

緑の園とグリーンプラザでは少人数でのレクリエーションを実施しています。

まだまだ制約も多く一緒に集まってのにぎやかな行事の実施は困難な状況ですが少しでも毎日の生活がメリハリのつくよう取り組んでまいります。



今月もどうぞよろしく申し上げます。

新型コロナ感染症に関してはオミクロン株が猛威をふるっておりますが最近(1/25現在)オミクロン株の「亜種」が新たに発見されたとの報道がなされ不安な情報に事欠きません。

これほど長く「人との距離をとって…」といわれてしまうと「人が集まること」そのものが敬遠されてしまう状況です。

以前であれば、「ふれあいを大切に」とか「そばに寄り添って」などは温かさを象徴するいかにも人とのつながりを表現する言葉だったかと思いますが、残念ながら使うときには注意を払うようになりました。

でも、人と人との距離をおかなければならないこんな時だからこそ心のつながる距離は近くありたいと思っています。

今月もどうぞよろしく申し上げます。(おばら)

